



MIYOSHI
CENTRAL HOSPITAL

第31号
2018年10月

市立三次中央病院だより

花みずき



コロラドスプリングス子供合唱団



弦楽四重奏の調べ



ロビーコンサートを 開催しています



落語 (浮沼亭 冷奴氏)



ホルンとピアノのタベ



オカリナのタベ

基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され
親しまれる病院を目指します





病院長
中西 敏夫

平成30年7月、西日本を襲った記録的な豪雨は、死者200人を超え、未曾有の豪雨災害となりました。追い打ちをかけるように日本列島を直撃した超大型台風、9月6日未明、北海道での地震は、ブラックアウトという北海道全域での停電を引き起こし、いずれも激甚災害に認定されました。お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に謹んでお見舞いを申し上げます、一刻も早い復興を願っております。

災害対策と災害拠点病院

近年、各地での自然災害の発生とその被害を踏まえ、厚生労働省は災害拠点病院に事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan、災害時に損害を最小限にとどめ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするための計画）の策定等を求めています。BCPはすでに多くの企業等で作成され、災害復旧での素早い復興に寄与しています。

市立三次中央病院は東酒屋地区、中国自動車道三次インターチェンジに隣接した高台の造成地区に建設されています。ヘリポートを備えており、近隣の公園には大型ヘリコプターの離着陸も容易です。災害拠点病院の立地条件としては最適です。当然、非常用電源の設備を備えて

います（現在装置の更新中です）が、この電源のみでの日常診療継続は困難で、電源のネットワーク化等の対策が必要です。災害時の診療は何処まで可能か、電力・給水などのインフラ、さらには食料や避難施設としての設備など課題は山積しています。

自然災害を完全に防ぐことはできません。万一の災害時に備えてBCPを策定していきます。行政と共に東酒屋地区に防災拠点都市構想を実現させたいと考えています。

総務大臣表彰

左の頁に写真が掲載されています。平成30年度の総務大臣表彰を受けました。昨年度の自治体優良病院会長表彰に続いての受賞です。自治体病院としては最高の名誉です。そこで、病院長就任以後の10年をふり返って、病院の業績等をお示ししてみたいと思います。

市立三次中央病院は県北の基幹病院として、これまで多くの救急患者、外来・入院患者を少ない医師、看護師やその他医療従事者でカバーし収益を上げてきました。そのため、大学から派遣された医師にも市民の皆様からも必ずしも評判の良い病院ではなかったと思います。

現在は病院、診療所との連携強化、人員確保、高度医療機器の整備と相まって、救急、急性期、高度専門医療を中心に、当院の基本理念である「地域の皆様から信頼され親しまれる病院」として運営しています。最近はお誉めの言葉も耳にします。

地域医療

(1) 救急医療

平成26年4月から初期救急を三次市休日夜

間急患センター（地元医師会の先生方が担当）に、二次救急は当院が担当と機能分担をしました。小児救急は小児科医師の減少・勤務医の負担軽減のため集約化が図られました。大学病院地域の小児科医師の支援により、365日、24時間の小児救急を行っています。病院独自の小児救急電話相談等により受診の適正化が図られ、小児科医による救急医療体制が維持されています。

(2) がん診療

平成18年8月、地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、備北圏域のがん診療の中心的役割を担っています。高度医療機器を導入し、がん治療機能の向上に努めており、現在、320列CT、MRI（3テスラ）、PET-CT、強度変調放射線治療（IMRT）装置が稼働しています。

がん診療連携拠点病院として設置努力が求められる「緩和ケアセンター」を平成28年10月に設置しました。医師2名、看護師2名、臨床心理士1名を専従配置し、薬剤師など8名の緩和ケアチームで取り組んでいます。県内で最も充実したチーム編成です。特に在宅支援に力を入れています。

(3) 低線量CTによる肺がん検診事業

平成26年度より、広島大学大学院放射線診断学研究室との共同研究を開始しました。50歳以上75歳未満の三次市民を対象にアンケートを実施し、肺がんの早期発見、治療効果を検証しています。すでに10数名の早期肺がんが発見され、手術となっています。全国的にも最も精度の高い肺がん検診事業として注目されています。

(4) 地域医療機関との連携

①病診連携は「かかりつけ医を持って下さい」

と市民の皆様にはアピールし、積極的に逆紹介を
しました。かかりつけ医からの紹介率も向上し、
平成23年8月には「地域医療支援病院」として
認可されました（登録数：93施設）。院内の研
修会にも診療所の医師や多職種に参加を呼びか
け、感染、医療事故などの研修会には特に多く
の参加があります。

② 医療情報システム

電子カルテの情報が院外からでもモバイル端
末で閲覧できるシステムを全国に先駆けて構築
しました。平成27年11月に電子カルテを更新し、
病棟での患者記録や情報をモバイル端末から入
力できるなどの試みを実証しています。

(5) 地域医療連携推進法人

二次医療圏の複数の医療法人が参画して、医
療機関や介護施設を統一的な方針の下で一体的
に運営する制度です。全国に先駆け、平成29年
4月に備北メディカルネットワークを設立しま
した。参加法人は、三次市・市立三次中央病院
庄原市・庄原市立西城市民病院、日本赤十字社・
庄原赤十字病院、一般社団法人三次地区医師会・
三次地区医療センターです。

備北メディカルネットワークは、設立母体が
まったく違うところが一緒になって取り組む、
まさに地域医療構想そのものを実践する法人と
いうことで、全国から注目されています。当圏
域では地域医療連携推進法人を中心に連携を推
進し、地域において良質かつ適切な医療を効率
的に提供できる地域完結型医療の実現をめざし
ています。



平成30年度自治体立優良病院 総務大臣表彰を受けました

6月21日、平成30年度自治体立優良病院の総務大臣表
彰が行われ、当院が受賞し、中西病院長に表彰状と記念の
楯が授与されました。昨年度の自治体立優良病院会長表
彰に続いての受賞です。



自治体立優良病院総務大臣表彰は、自治体立の病院で、
地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全性が確保されている病院を表彰するも
ののです。今年度は全国から当院を含め6病院が表彰されました。

当院は平成6年度に続いて2回目の受賞で、全国でも数少ない複数回受賞した自治体病院となりました。



この度の受賞は、救急医療においては、備北圏域のみならず、安芸高
田市・世羅町など三次市の隣接市町や島根県南部にわたる広域の二次救
急を担っていること、へき地医療拠点病院の指定を受け、診療所に医師
を派遣するなど、地域医療に貢献していることなどが評価されました。

この受賞に慢心することなく、引き続き健全経営を確保し、
地域医療拠点病院としての責務を果たし、地域の皆様から信
頼され親しまれる病院であるよう努力していきます。

10月から血液内科を 開設しています

平成30年10月から毎月第2・第4水曜日
の午前中に血液内科を開設しています。受診
をご希望される方は、かかりつけ医を通じて
地域医療連携室へご予約ください。



血液内科医師からのメッセージ

近隣には血液疾患の対応を行う医療機
関が少なかったと思いますので、微力
ですが皆さまのお役に立てるよう専心
したいと存じます。

■お問い合わせ

地域医療連携室 TEL (0824) 65-0101
FAX (0824) 65-0159

連載 がんの治療 ②②

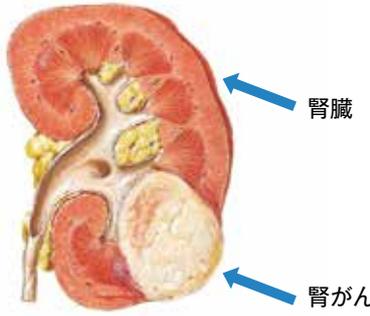
泌尿器科医長 瀬野康之

腎がん

【腎がんとは】

腎がん(図1)は、腎臓の尿を作る部分である腎実質の尿細管上皮細胞からできる悪性腫瘍です。発症頻度は、人口10万人に対して2〜4人程度で50〜70歳にかけて

(図1) 腎がん



Astra Zenca社 泌尿器科領域イラスト集より Benign Tumor of the Kidney 抜粋

多く、男女比は3:1で男性に多いのが特徴です。腎がんは、血尿、腫瘍触知、疼痛が3大症状といわれていますが、これらの症状が揃うことは少なく、検診や他の疾患における腹部超音波検査やCT検査において偶然発見されるものが多くなっています。したがって近年では、腎がん全体の70%程度は、転移のない腎臓に限局した早期がんです。

腎臓の腹腔鏡手術の様子



腎がんの治療は、抗がん剤治療や放射線治療が効きにくく、手術による摘出が第1選択となります。手術には大きく開腹手術と腹腔鏡手術の2つがあり、腫瘍の大きさ、進展度、患者さんの体力、腎機能、患者さんの希望などにより手術方法を決定します。

【腎がんの治療】

腎がんの診断は、超音波、CT、MRIなどの画像検査を組み合わせて、腫瘍の広がりや進行度(臨床病期)を診断します。腎がんに特異的な腫瘍マーカーはありません。

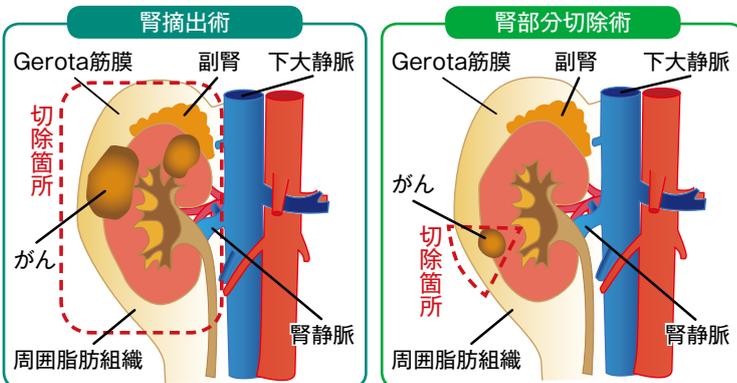
【腎がんの診断】

さらに、がんの発生した腎臓を全部摘出する「根治的腎摘出術」と、がんの部分だけを切除する「腎部分切除術」(図2)があります。

当院では、腫瘍径の小さな限局性腎がんや腎機能が低下した患者さんには、腎機能の温存をめざした腎部分切除術を積極的に行っています。

また、転移があり進行した腎がんの患者さんに対しては、がん細胞に特異的に働く薬(分子標的薬)や、免疫機能を高めて効果を示す薬(チェックポイント阻害薬)などによる治療を行っています。

(図2) 根治的腎摘出術と腎部分切除術



「がん医療を考える」市民公開講座 開催

市立三次中央病院では、市民の皆さまを対象にがん治療の知識の普及・啓発を目的とし、市民公開講座を開催します。お気軽にご参加ください。

とき 11月19日(月) 18時30分~

ところ グランラッセーレ三次

- 演題:「当院における最新の前立腺がんの診断と治療」
- 講師:市立三次中央病院 泌尿器科 主任医長 丸山 聡
- 入場:無料



【お問い合わせ】

医事課 TEL (0824) 65-0101
FAX (0824) 65-0150

臨床工学技士の手術室業務

臨床工学科 森田 剛正

みなさんは手術室がどのような場所かイメージが湧きますか？すぐに頭に浮かぶとしたら医療ドラマでしょうか。実際にご自身やご家族が手術を受けられた経験がある方もいらっしゃると思います。

そんな手術室には実に多くの医療機器があり、医療機器の操作や保守管理を専門に行う臨床工学技士にとって大いに活躍できる場所の1つと言えます。

今回は、手術室で医療機器を専門に扱う臨床工学技士の仕事についてお話します。

1日のスタートは、6台ある麻酔器の安全点検から始まります。その後、1日の手術の予定を把握した後、様々な機器の点検や手術の立ち会いを行います。

例えば、腹腔鏡手術ではお腹の中を観察する内視鏡手術装置、切



麻酔器点検



電気メス点検

開や止血をする電気メス、手術する場所を明るく照らす无影灯、様々な部位の手術が可能な手術台。また、手術用顕微鏡、心臓ペースメーカー手術の立ち会いなどを行っています。これらはごく一部に過ぎませんが、



安全安心に手術を受けてもらえるよう、スタッフのみんなと日々努力しています。

他にも院内で臨床工学技士がさまざまな業務に従事しています。ご紹介したように医療を工学の分野からサポートしている臨床工学技士にご興味のある方や、将来の進路などの参考にしてみたい方は下記のWebサイトをご覧ください。

《Webサイト》
公益社団法人 日本臨床工学技士会
<http://www.ja-ces.or.jp>

人生の節目に「PET検査」はいかがでしょう

いつまでも健康でいたいから

がんの早期発見を目的に、病巣部を速やかに診断する「PET画像」と、細やかな位置情報を見つける「CT画像」がひとつになったPET-CTによる検診を行っています。「PET-CT検診」は短時間で1度に全身のがん検査ができ、診断の精度が向上し、より詳細な病変を検出することが可能です。

ご退職やお誕生日・ご結婚記念日など人生の節目や記念日にPET検診の受診はいかがでしょう。



検診料金

86,400円(税込)

※20歳以上の三次市民の方には市から1万円の助成があります。

【お申し込み・お問い合わせ】

健診センター TEL(0824)65-0620 FAX(0824)65-0621

患者満足度調査結果について

平成30年7月・8月に「患者満足度調査」を実施し、入院患者204人・外来患者550人の皆さんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた項目ごとに、当院に対する満足度を100点満点で評価しました。

入院・外来の点数の高い順位と低い順位の各項目について、主な結果をお知らせします。

また、自由記入欄へ、施設や診療、接遇全般にわたって、たくさんのご意見やご要望をいただきました。できるところから改善を図り、患者さんに信頼され親しまれる病院づくりに取り組んでまいります。

入院



高い評価



低い評価



1 医師の態度や言葉づかい 81.8点

2 看護師の説明のわかりやすさ 81.2点

3 薬剤師の態度や言葉づかい 80.8点



1 売店 58.3点

2 トイレ 58.9点

3 自動販売機 62.2点

入院では、医師の接遇、看護師の説明、薬剤師の接遇で高い評価をいただきました。これらに続き「看護師の態度や言葉づかい（80.5点）」「リハビリ技師の態度や言葉づかい（80.2点）」となっており、全般的に接遇面が高評価となっています。コメントでも「スタッフの皆さんが丁寧に親身になって接して下さったので入院生活を乗り切ることが出来ました」等嬉しい言葉をいただきました。今後も入院生活の不安が少しでも解消できるよう、患者さんに寄り添う対応を心掛けていきます。

昨年度の調査からトイレ、売店、自動販売機などを独立した項目に分けましたが順位は入れ替わったものの、昨年度と同じ項目となりました。

具体的には「売店がせまい」「トイレがせまい」「各階に自動販売機がほしい」などの意見をいただきました。場所の制約等があり、なかなか改善ができませんが、患者さんの利便性が向上するよう検討していきたいと思っております。

外来



高い評価



低い評価



1 医師の症状や検査結果の説明 77.3点

2 医師の態度や言葉づかい 76.8点

3 医師の診察や処置への信頼感 75.8点



1 診療待ち時間 51.0点

2 駐車場の広さ入りやすさ 55.6点

3 売店 60.0点

外来においては、入院ほどではないものの、医師の説明や態度、接遇面、診察・処置に対して高い評価をいただきました。これらに続き「看護師の態度や言葉づかい（74.6点）」「看護師の説明のわかりやすさ（74.3点）」といった看護師の説明・接遇面に評価をいただきました。

全般的に患者さんが医師・看護師へ信頼感をもっていることが推察されます。



外来の「診療待ち時間」が昨年度に引き続き最も低くなりました。

ご記入いただいた診療待ち時間を分析すると、30分以内が35%、30分～1時間が29%、1～2時間が26%、2時間以上が10%となっています。

救急患者対応等で診察が遅れる場合がありますが、その際はご案内させていただきます。あまりに長く待つようであれば、病院スタッフにお気軽にお尋ねください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お願い 救急診療等の制限について

平成30年 **10月28日(日)**
8時~17時

電気設備の定期点検を行います。この間、一時的に停電するため、外来救急患者さんの診療及び入院患者さんへの面会を制限させていただきます。ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】 病院企画課安全管理係
TEL (0824) 65-0101 FAX (0824) 65-0150

整形外科受診のみなさまへ

近年、整形外科では、手術の必要な外傷・骨折の患者さんが大変多くなっています。緊急の手術対応が増えたため、外来受診にあたり、患者さんの待ち時間が長くなる等、不便をおかけしています。

外来での安心・安全な医療の提供のため、

初診の方は、いつも受診されている医院やクリニック等の

① かかりつけ医を受診し、地域連携予約を入れていただく



もしくは

② かかりつけ医からの紹介状を持参いただく



ようお願いいたします。

(①, ②に該当しない初診の方は、診療をお断りする場合がありますのでご了承ください。)

なお、救急対応の方、当院整形外科での手術に関する受診については、これまで通り対応いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。



病院ボランティア募集

～あなたの思いやりを患者さんへ～

院内でボランティアとして活動していただける方を募集しています。皆さんの善意の活動をお待ちしています。



- 活動内容／外来患者さんへの支援
(玄関での車の乗降の手伝い、待合での手伝いなど)
- 活動時間／月～金曜日(祝日を除く)
8時30分～12時のうち都合のよい時間
- 応募にあたって
 - ・交通費を支給します。(市の規定による)
 - ・ボランティア保険は当院が加入します。

第10回 みよしぶどう友の会

秋のウォーキング大会 参加者募集

みよしぶどう友の会では、『秋のウォーキング大会』を開催します。ウォーキングで健康づくり、仲間づくり、そして糖尿病などに関する知識を深めてみませんか？

会員でなくても健康に興味・関心のある方、大歓迎です！ぜひ、お気軽にご参加ください!!

- ◆日時：11月17日(土)
12時～15時(雨天中止)
- ◆集合場所：市立三次中央病院
健診センター2階 講堂
- ◆内容：ノルディックウォーキング(みよし運動公園)
 - ・血糖測定(運動前後)
 - ・糖尿病に関するミニレクチャー
- ◆費用：500円(ヘルシー弁当を用意します)
- ◆申込期限：11月15日(木)



【お申し込み・お問い合わせ】

医事課：TEL (0824) 65-0101 FAX (0824) 65-0159 Email : iji@city.miyoshi.hiroshima.jp

